

### 三田青果さんが寄附



▲寄附された三田青果の青山巽哉社長(左)

高齢化の農家や新規農家の支援に使っていただきたいと、三田青果(榎列)が「絆プロジェクト」として商品の玉葱を販売した売上の一部を南あわじ市に寄附されました。三田青果は「絆たまねぎ」を1箱当たり50円の寄附を行う目的で販売して、今年4月から10月の間で1385箱の売上を得て6万9250円を市に寄附されました。青山巽哉社長は「農家さんに何かお役に立てないかと思いついたプロジェクトを始めた。商いを続ける限り毎年続けていきたい」と話されています。ご寄附ありがとうございます。

### 熊本県・平成音楽大学へ募金を寄付



▲チャリティ募金を手渡す音楽によるまちづくり実行委員会

今年の8月11日に実施した音楽によるまちづくり実行委員会主催の熊本地震復興記念「第4回チャリティカラオケ発表会」で、出演者や観覧者からいただいた収益金及び募金の合計20万5569円が、10月22日に平成音楽大学に届けられました。

同大学は現在、比較的被害の少なかった建物を使って授業を再開していますが、出田敬三学長は「教育環境を整えるためにもこの寄付は非常にありがたい」と話していました。

### 吉備国際大学からのお知らせ

#### 学生カフェがオープン

このたび、本学C棟2階に、学生たちが運営するカフェがオープンしました。

営業は木曜日と金曜日の午後3時30分から午後6時30分です。市民の皆様のご利用も可能です。食品加工サークルに所属する学生たちによる、挽きたてのコーヒーやホットケーキなどの軽食を、ぜひお召し上がりください。

▽営業日時 木曜日・金曜日 午後3時30分～6時30分  
ただし、都合により変更または休業する場合があります。

▽場所 同大学南あわじ志知キャンパスC棟2階  
▽メニュー 珈琲350円、軽食250円  
※セットの場合は100円引  
▽同大事務室 ☎42・4700



▲学生らが運営するカフェ

#### 第1回学園祭「くこうみ祭」

11月6日、開設4年目を迎えて、初めての学園祭「くこうみ祭」を開催しました。

ステージイベントでは三原志知太鼓クラブ「志童」・学内軽音楽部・淡路三原高校吹奏楽部による演奏や外国語学部によるダンス、また6体のゆるキャラ登場などで会場を盛り上げました。

また、キャンパス内では焼き鳥やヨーヨー釣りなどの模擬店が軒を連ねたほか、体験活動ブースや産直市もあり、家族連れなど多くの人でにぎわいました。



▲来場者でにぎわうキャンパス

▲焼き鳥を焼く学生たち

▲演奏を披露する軽音楽部

### 社会を明るくする運動 作文コンテスト発表会

犯罪や非行のない明るい社会をめざして「社会を明るくする運動」の作文コンテスト発表会が11月12日、中央公民館で開催されました。市内小中学生の作文350点の中から優秀作品19点が選ばれ、受賞者による作文発表が行われました。受賞者は次のとおりです。

- ◆小学校の部入賞者 ※敬称略
- ▼最優秀賞 赤松 輝(北阿万)
- ▼優秀賞 澤内 祥希(西淡志知)
- ▼優秀賞 山下 莉世(阿万)
- ▼優秀賞 上田 はな(後文)
- ▼佳作 近藤 愛唯(北阿万、
- 壽圓 菜歩(後文、高島 綾乃(淡)、中野 喬佳(北阿万)、
- 天野 更咲(榎列)、片山 涼(阿

### 消防団協力事業所へ表示証の伝達式

地域防災を支える消防団の活動がますます重要性が増している現在、全国でも消防団員の約7割が被雇用者という状況の中、緊急時の消防団員の出勤や活動においては、勤務先の会社や事業所の理解と協力が不可欠です。そこで、島内3市消防団と淡路広域消防事務組合で構成する淡路地区消防協議会では、勤務時間中の消防団活動に配慮している事業所を「消防団協力事業所」として認定し、「表示証」を交付しています。

▲11月14日、2事業所に表示証が手渡されました

市内では、今年新たに次の2事業所に表示証が交付されました。※順不同敬称略

- ◆太田土建株式会社(志知)
- ◆藤原電工株式会社(神代)

それぞれの事業所では、災害時の出勤に際し、消防団活動への配慮に取り組んでいるなど、協議会の協力事業所認定基準に適合していることから認定を受けました。



▲発表会での記念撮影

### ふれあい市長室

#### 市内各地で総合防災訓練を実施

南あわじ市長 中田勝久

去る10月27日、公益財団法人日本離島センターの理事会、公益社団法人全国漁港漁場協会の理事会と全国漁港漁場大会に出席してまいりました。日本離島センターでは、事業の一環として一般社団法人日本損害保険協会のご厚意と消防庁のご配慮により、昭和57年度から毎年全国の離島地域に小型動力ポンプ付軽消防自動車を寄贈されており、大変うれしいことに今年も沼島が選ばれました。関係者の皆さんに深く感謝を申し上げます。

また、全国漁港漁場大会では「災害に強い漁業地域づくりのための漁港施設の防災・減災対策」を含む来年度事業と予算要求について決議してまいりました。加えて、永田県議会議長が会長を務める兵庫県水産振興議員連盟役員の先生方にもお会いし、災害に強い漁港・魚村の地域づくりを推進するため、要望書を手渡し、意見交換をしてまいりました。

また、全国漁港漁場大会では「災害に強い漁業地域づくりのための漁港施設の防災・減災対策」を含む来年度事業と予算要求について決議してまいりました。加えて、永田県議会議長が会長を務める兵庫県水産振興議員連盟役員の先生方にもお会いし、災害に強い漁港・魚村の地域づくりを推進するため、要望書を手渡し、意見交換をしてまいりました。

今年も南あわじ市が兵庫県防災訓練のメイン会場でもありました。井戸知事にもお越しいただき、福良湾での海上自衛隊及び兵庫県警による洋上救助訓練を共に視察と、福良港湾口防波堤の設置について説明させていただきました。さらに防災訓練の翌日には、平成29年度兵庫県予算編成に向けた要望書を、洲本市長、淡路市長とともに井戸知事



▲井戸知事と尾原淡路県民局長に福良港湾口防波堤の説明をする中田市長

に手渡してまいりました。私からは防災・減災対策や昨年発生した玉ねぎのべト病対策などについて要求内容を説明させていただきました。

昨年10月1日を基準日に実施された国勢調査の確定値が10月末に公表されました。南あわじ市においては前回調査(平成22年)より2922人減り、4万6912人となりました。人口減少に対しては、少子対策や移住促進などの施策を講じておりますが、すぐに結果が表れるものではないと見込んでおります。今後も南あわじ市の持続的な成長のため、さまざまな施策に粘り強く取り組んでまいります。どうぞ市民の皆さんのご理解・協力をお願い致します。